

平成 3 0 年 度

# 事 業 報 告 書

社会福祉法人 はぴねす福社会

## 目 次

### 平成 30 年度 事業報告書

法 人 本 部 . . . . .	1 ～ 3
生活介護事業 . . . . .	4 ～ 6
障害児通所支援事業 . . . . .	7 ～ 8
日中一時支援事業 . . . . .	9
就労継続支援B型事業 . . . . .	10 ～ 13
居宅介護等事業 . . . . .	14 ～ 15
共同生活援助事業 . . . . .	16 ～ 17
相談支援事業 . . . . .	18 ～ 22
1. 委託、指定相談支援事業	
2. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務	
手話通訳事業 . . . . .	23 ～ 24
1. 手話通訳設置事業	
2. 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業	
3. 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業	
4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業	
地域活動支援センター事業 . . . . .	25 ～ 27
益田市基幹相談支援センター事業 . . . . .	28 ～ 29

# 平成 30 年度 法人本部 事業報告

## 1. 役員・評議員の状況

	理事（内業務執行理事）	監 事	評議員
定 数	6 （ 1 ）	2	7
現員数	6 （ 1 ）	2	7

理事・監事 任期 平成 29 年 6 月 21 日～平成 31 年 6 月開催予定の定時評議員会まで

評 議 員 任期 平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 6 月開催予定の定時評議員会まで

## 2. 定款変更の状況 定款例に沿った一部字句の修正ため、平成 31 年 1 月 4 日より施行

## 3. 理事会の開催状況

回数	開催日	審議事項	出席 理事・監事数
1	平成 30 年 6 月 6 日	議案第 1 号 平成 29 年度事業報告並びに計算関係書類 及び財産目録等の承認について 議案第 2 号 平成 30 年度定時評議員会の招集について 議案第 3 号 監事の退任並びに選任について 議案第 4 号 運営規定の改定について	理事 6 名 監事 2 名
2	平成 30 年 11 月 19 日	議題第 5 号 監事監査実施規定（案）について承認 議題第 6 号 益田市基幹相談支援センターの受託に ついて承認 議題第 7 号 定款の一部変更について承認 議案第 8 号 各種事業の運営規定の整備について 議案第 9 号 臨時評議員会の招集について承認 議題第 10 号 創立 20 周年記念行事の開催について承認	理事 6 名 監事 2 名
3	平成 31 年 3 月 19 日	議題第 11 号 平成 30 年度補正予算案の承認 議題第 12 号 平成 31 年度事業計画・収支予算の承認 議題第 13 号 臨時評議員会開催の承認 議題第 14 号 理事及び監事の改選について 議題第 15 号 創立 20 周年記念行事について 議題第 16 号 経理規定の一部変更について	理事 6 名 監事 2 名

## 4. 評議員会の開催状況

回数	開催日	審議事項	出席 評議員数
1	平成 30 年 6 月 21 日	議題第 1 号 平成 29 年度計算関係書類及び財産目録等の 承認について 議題第 2 号 監事の退任並びに選任について	7 名
2	平成 30 年 12 月 6 日	議題第 3 号 益田市基幹相談支援センター事業の 受託について承認 議題第 4 号 定款の一部変更について承認	6 名

3	平成 31 年 3 月 28 日	議題第 5 号 平成 30 年度補正予算の承認 議題第 6 号 平成 31 年度事業計画・収支予算の承認 議題第 7 号 理事及び監事の選任について承認	7 名
---	---------------------	--	-----

## 5. 監査・会議等

### 【監査】

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| (1) 竹内会計監査    | 毎月 1 回実施                   |
| (2) 内部経理監査    | 平成 30 年 5 月 16 日           |
| (3) 監事監査      | 平成 30 年 5 月 17 日・11 月 13 日 |
| (4) 指導監査（益田市） | 平成 30 年 9 月 27 日           |

### 【会議】

- |                |          |
|----------------|----------|
| (1) 運営会議       | 毎月 1 回開催 |
| (2) 福祉ゾーン連絡協議会 | 毎月 1 回開催 |

## 6. 委員会

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| (1) 苦情解決委員会     | 平成 30 年 10 月 2 日 |
| (2) 衛生委員会       | 毎月 1 回開催         |
| (3) 防火管理委員会     | 毎月 1 回開催         |
| (4) 評議員選任・解任委員会 | 開催なし             |

## 7. 研修・説明会等

### 【施設外】

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 就職ガイダンス（六日市学園）     | 平成 30 年 5 月 31 日  |
| 安全運転管理者等講習         | 平成 30 年 6 月 1 日   |
| 石西地区人権を考える企業等連絡会   | 平成 30 年 6 月 14 日  |
| 社会福祉法人経営者協議会及びセミナー | 平成 30 年 7 月 9 日   |
| 法人指導監査説明会          | 平成 30 年 7 月 20 日  |
| 労務管理研修             | 平成 30 年 8 月 22 日  |
| 企業トップクラス人権同和問題研修   | 平成 30 年 9 月 3 日   |
| 新卒者採用試験（対象：高卒）     | 平成 30 年 9 月 20 日  |
| 都道府県ブロック会議         | 平成 30 年 9 月 25 日  |
| 役員研修               | 平成 30 年 10 月 9 日  |
| 新任介護職員教育担当者育成研修    | 平成 30 年 10 月 31 日 |
| 監事研修               | 平成 30 年 12 月 3 日  |
| 求職者面接会             | 平成 31 年 2 月 20 日  |

### 【施設内】

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 津和野町民生委員施設見学         | 平成 30 年 7 月 2 日  |
| AED・応急処置研修会（衛生委員会主催） | 平成 30 年 9 月 19 日 |
| 友愛老人クラブ施設見学          | 平成 30 年 10 月 3 日 |
| LED 取り付け工事（本館のみ）     | 平成 30 年 12 月     |
| 接遇・マナー研修会            | 平成 31 年 2 月 16 日 |

## 8. 加入団体

- ・ 島根県社会福祉協議会
- ・ 益田市社会福祉協議会
- ・ 石西地区人権を考える企業等連絡会
- ・ 益田鹿足成年後見センター
- ・ 島根県安全運転管理者協会
- ・ 益田地区安全運転管理者協会
- ・ 島根県社会福祉法人経営者協議会
- ・ 独立行政法人福祉医療機構
- ・ 島根県西部勤労者共済会

## 9. 成果と課題

- ・ 人事考課制度の導入にむけ研修を重ねているが、内部体制をしっかり整え、職員への周知を図った上で慎重に取り組んでいく必要がある。
- ・ 事業収益において、障害福祉サービス等事業収入が大幅に減少しており、人員配置の見直しを図り、利用者の増加に向け各事業で事業の在り方を検討していく必要がある。
- ・ 事業収益、事業費用への職員の意識付けをさらに図っていく必要がある。
- ・ 新卒採用にむけ、学校訪問やガイダンス参加を試み、新卒者の採用試験を行ったが、採用には至らなかった。今後も継続的に行いたい。

平成 30 年度 生活介護事業 事業報告

1. 登録者数 40 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）

2. 実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延利用者数（人）	334	344	334	336	335	282
開設日数（日）	21	23	21	22	23	20
<b>30 年度 1 日平均（人）</b>	<b>15.9</b>	<b>15.0</b>	<b>15.9</b>	<b>15.3</b>	<b>14.6</b>	<b>14.1</b>
29 年度 1 日平均（人）	13.3	13.3	13.2	13.4	14.5	14.6
益田市延利用者数（人）	320	330	321	322	320	267
その他延利用者数（人）	14	14	13	14	15	15
契約者数（人）	43	44	42	42	43	43
新規契約者数	1	1	1	0	1	0
契約解除者数	1	0	3	0	0	0

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数（人）	328	293	284	272	269	300	3711
開設日数（日）	23	22	20	20	20	21	256
<b>30 年度 1 日平均（人）</b>	<b>14.3</b>	<b>13.3</b>	<b>14.2</b>	<b>13.6</b>	<b>13.5</b>	<b>14.3</b>	<b>14.5</b>
29 年度 1 日平均（人）	15.5	14.6	14.0	15.7	14.8	15.4	14.3
益田市延利用者数（人）	308	276	268	255	252	284	3523
その他延利用者数（人）	20	17	16	17	17	16	188
契約者数（人）	42	40	40	40	40	40	
新規契約者数	0	0	1	0	0	1	6
契約解除者数	1	2	1	0	0	1	9

平成 30 年度 障害別契約者数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

身体	知的	精神	合計
23 人	14 人	3 人	40 人

### 3. 主な活動内容

月	社会参加支援	日中活動 (創作・レク)	生産活動 (畑作業)	その他
4	ブルーライトの 集い お花見 (運動公園、匹見 川ふれあい公園)	壁面飾り：こいのぼり グランドゴルフ	えんどう豆収穫 サラダ菜植え付け	
5		壁面飾り：あさがお ビンゴゲーム たこ焼き作り	たまねぎ収穫 トマト、ナス、カボチ ャ、いんげん豆、キュ ウリ、ピーマン、里 芋の植え付け	
6	万葉公園散策	壁面飾り：あじさい 七夕飾り作り	じゃがいも、サラ ダ菜収穫 さつまいも植え付 け	三施設合同避難訓練 (水害)
7		壁面飾り：ひまわり モビール：竹に七夕飾り	キュウリ、ナス トマト、いんげん 豆収穫	三施設合同美化活動 (プランター花植え) サマーボランティア (高津中 2名)
8	ショッピング (トライアル)	壁面飾り：コスモス かき氷振る舞い 浴衣 実習生：ピアノ演奏 イラスト書き	カボチャ、ピーマ ン収穫	福岡県立大学3年生 実習(10日間)
9		種取り：しその実、ひま わり、風船かずら 祭り配布、袋詰め	白菜、ラディッシ ュの植え付け	明誠高等学校1年生 視察研修
10	福祉ゾーン ふれあい祭り	モビール：もみじ 焼き芋作り	さつまいも、ラデ イッシュュ、里芋収 穫 高菜、小松菜、ネギ の植え付け	明誠高等学校実習生 (10日間) (3名) 園芸ボランティア (こもれび)
11	ショッピング (キヌヤSC)	壁面飾り：猪 お月見展示 正月用「亥」書き 干し柿作り	玉ねぎ植え付け	あゆみの里・レインボ ー・児童デイ避難訓練 (地震)
12		モビール：雪の結晶 クリスマスツリー作り ツリー飾り付け クリスマス会 正月飾り作り(書初め) 「亥」飾りつけ	ネギ、小松菜、白菜 収穫 えんどう豆植え付 け	園芸ボランティア (こもれび)
1	初詣(柿本神社)	ぜんざい振る舞い	大根収穫 高菜収穫	
2		節分祭(ボウリング、玉 入れ、豆・マシュマロを 配る) あゆみマスコット製作		
3	お花見 (中田、水源地)	ポンポン作り ひな人形を飾る 利用者会議	じゃがいも植え	

#### 実施した活動（講座）

- ・ 講座 月1回 エコクラフト、ステンシル、音楽、3B体操
- ・ リハビリテーション 理学リハビリ1回  
言語リハビリ1回  
(リハビリテーションカレッジ島根)
- ・ ボランティア 大正琴、習字、園芸・手芸（こもれび）

#### 4. 職員研修

研修内容	開催地
6/20～21・・・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	浜田市
8/8・・・介護事業者をめぐる労務&介護事故問題対策セミナー	浜田市
9/11～12・・・強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	出雲市
10/31・・・リスクマネジメント研修Ⅰ	浜田市
2/13・・・介護ロボット体験	益田市
2/16・・・接遇マナー研修	益田市
2/21・・・腰痛予防ストレッチ（衛生委員会）	益田市

#### 5. 成果と課題

- ・ 利用者一人ひとりの健康、身体状況を把握し、それに対する支援方法の共有を行った。重度心身障がい者への支援として、ご家族に来所していただき支援内容・介助方法の指導を受け、家族の希望に応じたより細かな支援を実施した。
- ・ 心と体の緊張を緩和させるためリラクゼーションスペースを設置し活用できた。利用者やご家族の意見も取り入れながら、今後もより効果的な支援につながるように取り組みたい。
- ・ 買い物支援の希望が増え、買い物支援日を増やした。
- ・ 特別浴槽（18年間使用）の不具合が生じ、市と協議後、新しい浴槽の設置ができた。安全に入浴ができ、職員の腰痛予防に気をつけ入浴介助が行われた。
- 個別支援シートの活用について、毎日のミーティング等で支援内容を共有することはできているが、個別支援シートへの書き込みが不十分さがあつた。
- ヒヤリハットや事故の事例が発生した場合、速やかに状況、原因、再発防止の対策を毎日のミーティングで話し合いを持ったが、同じ事例を繰り返してしまうこともあつた。

平成 30 年度 障害児通所支援事業（放課後等デイサービス） 事業報告

1. 登録者数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

○市町別

益田市	吉賀町	津和野町
15 名	1 名	0 名

○男女別

男児	女児
11 名	5 名

○学年別

小学部 1、2 年	小学部 3、4 年	小学部 5、6 年
1 名	3 名	2 名
中学部 1 年	中学部 2 年	中学部 3 年
0 名	0 名	2 名
高等部 1 年	高等部 2 年	高等部 3 年
3 名	5 名	0 名

2. 実績

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	延べ利用者数（1 日平均利用人数）	開所日数	延べ利用者数（1 日平均利用人数）	開所日数
4 月	186 人(8.4 人)	22 日	158 人(7.5 人)	21 日
5 月	186 人(8.0 人)	23 日	163 人(7.7 人)	21 日
6 月	184 人(7.6 人)	24 日	147 人(7.0 人)	21 日
7 月	169 人(8.0 人)	21 日	165 人(7.8 人)	21 日
8 月	178 人(8.9 人)	20 日	167 人(8.3 人)	20 日
9 月	158 人(7.1 人)	22 日	132 人(7.3 人)	18 日
10 月	158 人(7.5 人)	21 日	176 人(8.0 人)	22 日
11 月	150 人(6.8 人)	22 日	158 人(7.5 人)	21 日
12 月	171 人(7.4 人)	23 日	145 人(7.6 人)	19 日
1 月	158 人(7.5 人)	21 日	157 人(8.2 人)	19 日
2 月	161 人(7.6 人)	21 日	119 人(6.2 人)	19 日
3 月	172 人(7.4 人)	23 日	170 人(8.5 人)	20 日
合 計	2,031 人(7.7 人)	263 日	1857 人(7.6 人)	242 日

3. 活動内容

- ・ 個別指導(20 分程度の課題提供)
- ・ 外遊び(砂場、散歩、鬼ごっこなど)、海水浴(津田海岸)
- ・ ドライブ(萩ウェルネスパーク、左鐙小学校、浜田海浜公園、三隅火電公園)
- ・ 社会参加(浜田こども美術館、津和野道の駅レストラン、マクドナルド、市内神社初詣)
- ・ 動物とのふれあい(金城ウエスタンパーク、船方牧場、日原の山羊)
- ・ 調理実習(ハンバーグ、カレー、焼きそば、チャーハン、お好み焼きなど)
- ・ クリスマス会(勉強会)
  - ・ 益田市立図書館
  - ・ 音楽療法

#### 4. 会議、研修、講演会など

日程	研修、講演会名	場所・人数
6月20日・21日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	浜田市・1人
7月10日・11日	相談支援従事者初任者研修	松江市・1人
8月25日	発達障がいを理解するための基礎研修	益田市・4人
9月11日・12日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	出雲市・1人
9月19日	AED講習会	あゆみの里・4人
10月18日	強度行動障害支援者養成フォローアップ	出雲市・1人
10月23日	サビ管・児発菅 養成研修（共通）	出雲市・1人
10月30日	放デイ連絡会 研修会	あゆっこ益田・4人
11月29日・30日	サビ管・児発菅 養成研修（分野別）	出雲市・1人
12月1日	EGF フォーラム	田万川町・2人
12月8日	発達障がい地域啓発セミナー	浜田市・1人
3月3日	EGF 特別研修会	益田市・2人

#### 5. その他

\* クリスマス会・保護者勉強会

「市内生活介護事業所 説明会」

講師：市内事業所スタッフ3名

#### 6. 成果と課題

○ 児童の障がいに対する専門的な知識や適切な支援方法を学ぶ機会を増やし、適切な支援ができるよう取り組む。

⇒ 研修会には積極的に参加し、支援にいかせるように情報を共有した。

職員会議等では、個別の支援について話し合う時間を作った。

疑問に思ったことはすぐに確認できるよう、日頃から話しやすい職場環境作りを意識し整えてきた。

## 平成 30 年度 日中一時支援事業 事業報告

### 1. 実績

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	月別利用人数	月別利用人数	月別利用人数	延べ利用人数
4 月	14	41	13	39
5 月	11	16	8	17
6 月	10	21	1	4
7 月	12	46	12	50
8 月	15	126	13	112
9 月	4	12	3	6
10 月	9	18	7	10
11 月	4	15	2	5
12 月	13	21	12	30
1 月	10	25	11	15
2 月	5	15	1	4
3 月	14	48	12	46
月平均利用人数	10		7.9	

2. 登録者数 15 名 (障がい者 2 名、障がい児 13 名)

### 3. 成果と課題

- 法人全体で協力して取り組んでいる。
- 児童の長期休みの朝の時間帯の日中一時は、保護者さんに喜ばれている。
- あゆみの里のサービス提供時間内に希望があっても、対応できるスタッフがおらず断るケースがある。
- 土曜日に利用したいという希望があるが、人員配置、振替等考えると難しい状況。

1. 登録者数（平成 31 年 3 月 31 日現在）

	身体	精神	知的	合計
レインボー	2 名	7 名	8 名	17 名
たんぽぽ	1 名	10 名	9 名	20 名
合計	3 名	17 名	17 名	37 名

<新規と終了>

	レインボーハウス	たんぽぽ
新 規	3 名	1 名
終 了	3 名 ・一般就労 (1 名) ・進学 (1 名) ・自己都合 (1 名)	1 名 ・死亡 (1 名)

2. 就労支援状況

一般就労	就労継続支援 B 型事業	社会適応訓練	総合実務科
1 名	0 名	0 名	0 名

3. 1 か月延べ利用者数（1 日平均利用者数）（人）

	30 年度	29 年度
4 月（開所 20 日）	574 (28.7)	645 (32.2)
5 月（開所 21 日）	566 (27.0)	655 (34.4)
6 月（開所 22 日）	601 (27.3)	711 (32.3)
7 月（開所 21 日）	557 (26.5)	594 (29.7)
8 月（開所 20 日）	568 (28.4)	592 (28.2)
9 月（開所 18 日）	515 (28.6)	592 (29.6)
10 月（開所 22 日）	569 (25.9)	584 (27.8)
11 月（開所 22 日）	572 (26.0)	575 (28.8)
12 月（開所 20 日）	543 (27.2)	605 (30.2)
1 月（開所 19 日）	530 (28.6)	493 (25.9)
2 月（開所 19 日）	528 (27.8)	513 (27.0)
3 月（開所 20 日）	565 (28.3)	585 (26.6)

4. 平均支払い工賃（毎月の平均支払い工賃額）（単位：円）

	30 年度	29 年度
4 月	309, 570 (10, 786)	369, 155 (11, 464)
5 月	570, 672 (21, 136)	351, 155 (10, 207)
6 月	309, 075 (11, 321)	388, 705 (12, 034)
7 月	274, 680 (10, 365)	326, 485 (10, 992)
8 月	415, 565 (14, 632)	577, 886 (20, 492)
9 月	270, 105 ( 9, 444)	325, 895 (11, 009)
10 月	256, 485 ( 9, 902)	317, 950 (11, 437)
11 月	301, 575 (11, 599)	321, 975 (11, 179)
12 月	602, 153 (22, 137)	625, 586 (20, 714)
1 月	282, 080 ( 9, 862)	247, 980 (9, 574)
2 月	291, 825 (10, 497)	264, 985 (9, 814)
3 月	273, 320 ( 9, 657)	583, 042 (21, 918)
平 均	346, 425 (12, 597)	391, 733 (13, 402)

\* 毎月の平均支払工賃額＝月の工賃総支給額÷1 日平均利用者数

5. 活動状況

内容	日にち	参加者（人）
お花見交流会兼ライトイットアップ ブルーイベント	4 月 2 日（水）	26
世界自閉症啓発デー映画会出店 （グラントワ）	4 月 8 日（日）	2
健康診断	6 月 1 日（金）	36
バーベキュー交流会	6 月 8 日（金）	26
障害者スポーツ大会	6 月 10 日（日）	6
3 施設合同避難訓練	6 月 18 日（月）	13
きずなまつり出店	7 月 1 日（日）	2
福祉ゾーンふれあいまつり	10 月 28 日（日）	16
健康ますだ市 21 主催 健康フェスティバル出店	11 月 18 日（日）	2
益田教会バザー出店	11 月 25 日（日）	
交流会（忘年会）	12 月 14 日（金）	30
柿本神社初詣	平成 31 年 1 月 4 日（木）	15
利用者会議	2 月 19 日（火）	23
利用者説明会（レインボー）	3 月 20 日（水）	13
利用者説明会（たんぼぼ）	3 月 25 日（月）	11

体験利用・実習・見学・ボランティア

- 体験利用 4名 (内2名はレインボーハウス利用中)
- 実 習 益田養護学校 (高等部1年2名、高等部2年2名、高等部3年1名)  
明誠高等学校福祉科2年生 2名
- 見 学 明誠高等学校福祉科1年生
- ボランティア 精神福祉ボランティアこもれび  
レインボーハウス 毎月2回程度 2名  
たんぼぼ 毎月2回程度 1名

\* たんぼぼでは31年1月5日に「七草がゆ」をこもれびの方よりよりふるまっていたいた。

6. 職員研修・会議等

○ 職員研修

内 容	日にち	場 所	人数
しまねアグリビジネス実践スクール 「農福連携指導者養成コース」	4月～12月 (月1回程度)	大田市	2
強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	6月20日～21日	浜田市	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員)	7月4日～5日	浜田市	1
製パン・製菓講習会	7月10日	米子市	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者)	8月20日	浜田市	1
指導的職員研修 I	8月30日	浜田市	1
HACCP (ハ CCP) 導入のためのポイント解説セミナー	9月8日	浜田市	1
強度行動障害支援者養成研修 (実践研修)	9月11日～12日	出雲市	1
手書き POP 作成セミナー	9月18日	浜田市	1
刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育	9月26日	大田市	2
視察研修 (社会福祉法人ふらっと)	10月12日	松江市	9
強度行動障害支援者養成研修 (フォローアップ研修)	10月18日	出雲市	1
食品製造技術者のための衛生管理技術 入門研修	11月13日	松江市	1
食品表示 (一括表示・栄養成分表示) 作成講習	11月20日	益田市	1
障がい者就労事業所説明会出店	12月1日	益田市	2
サービス管理責任者・ 児童発達支援管理責任者現任研修	平成31年 1月18日	出雲市	1
食品表示セミナー	1月23日	浜田市	1
障がい者虐待防止・権利擁護研修	2月13日～14日	松江市	1
工賃向上計画セミナー	2月22日	出雲市	1
島根県就労移行支援事業所研修会	3月1日～2日	浜田市	1

○ 会議等

- ・ 第1回島根県障がい者就労事業振興センター連絡会議（浜田市） 7月26日
- ・ 益田圏域障がい者就労事業所説明会（市民学習センター） 12月1日
- ・ 第2回益田市障がい者就業・生活支援センター連絡会議  
（人権センター） 1月31日
- ・ 総合実務科入校生募集連絡会（西部高等技術校） 1月24日
- ・ 第2回益田・鹿足地区生活支援会議（益田養護学校） 2月22日
- ・ 第2回島根県障がい者就労事業振興センター連絡会議（浜田市） 3月8日
- ・ 益田圏域障がい者就労事業所説明会（市民学習センター） 3月19日

7. 成果と課題

\* 成果

- ・ 印刷事業において、島根県障がい者就労事業振興センターの専門家派遣を利用し、利用者の印刷技術の向上を図った。その結果、昨年度より印刷事業の収入増に繋がった。
- ・ 平成30年度後半より各事業において月別の売上目標を定めた。そのことにより職員の意識も変わり、利用者に対する作業の指導がきめ細かくなり、作業効率が上がった。
- ・ イベント出店を増やし、お菓子製造と出店先での接客で工賃向上につなげた。
- ・ 身体障がいの利用者が増えたこと、産業医より作業所と休憩室をきちんと分けるようにと指導があったため、印刷室を移動し、休憩室を広く確保した。

\* 課題

- ・ 昼休みに利用者の転倒事故があった。安全確保のために職員の休憩をずらすなどの工夫が必要である。
- ・ 職員の入れ替わりが多かったため、利用者に対してきめ細やかなサービスの提供が出来なかった。
- ・ 発達障がいの利用者が増え、個別対応、個別支援の方が増えてきた。職員の更なるスキルアップと、統一した支援ができるような体制作りが必要となっている。
- ・ 利用者増に向けて、魅力ある就労継続支援B型事業所になるべく新規事業への取り組み、現在行っている事業の見直しが必要である。
- ・ 職員の資質向上に向け、職種や経験に応じた研修に積極的に参加していく必要がある。
- ・ 県の補助金を利用し、他の就労継続支援事業所と連携しながら利用者の工賃アップとなる事業に取り組んでいく必要がある。
- ・ 社会のルールやマナー、生活面での支援が必要な利用者が多くなってきている。相談支援事業所等の関係機関と連携をとりながら、事業所内で学習会を開催するなど適切な支援をしていく必要がある。

平成 30 年度 居宅介護等事業 事業報告

(居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援)

1. 実績 ※ ヘルパー会議 月 1 回(2 時間)

(居宅介護)

	身体介護		家事援助		通院		合計	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
4月	170	137	140.5	144.25	17	16.5	327.5	297.75
5月	173.5	124.5	155.5	164.5	21.5	11	350.5	300
6月	135.5	241.5	147.25	173.5	7.5	13	290.25	428
7月	209.5	116.5	145.5	184.75	24.5	15	379.5	316.25
8月	184.5	126	147.5	144.25	10	15	342	285.25
9月	176	110.5	154.5	150	11	16.5	341.5	277
10月	200.5	113	133.25	167.5	13.5	12.5	347.25	293
11月	172	107.5	134.75	162	14	20	320.75	289.5
12月	140.5	101.5	149.5	184.25	18	9.5	308	295.25
1月	161.5	163.5	141	183.75	18.5	34	321	381.25
2月	146.5	175	136	176.75	16.5	28	299	379.75
3月	156	183	137	197.25	16	22.5	309	402.75
合計	2026	1699.5	1722.25	2032.75	188	213.5	3936.25	3945.75

(同行援護・行動援護・重度訪問介護・移動支援)

	同行援護		行動援護		重度訪問介護		移動支援	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
4月	29	0	6	4	127	121.5	30	38
5月	47	0	5.5	9	137	116.5	30.5	53.5
6月	38	0	9	4	169.5	137	32.5	41
7月	36.5	0	5.5	3	168	160.5	30	39
8月	36.5	0	5.5	3.5	157	144.5	19.5	52.95
9月	34	0	3	3.5	176.5	149.5	16.5	36.5
10月	34.5	0	4	3.5	126	158.5	23.5	53.5
11月	44.5	0	4	3.5	124	165	21	50
12月	87.5	0	6.5	3.5	117	145	21.5	38.5
1月	33	0	4	3.5	135	0	7	48.15
2月	28.5	0	4	3.5	122.5	0	19	33.44
3月	37	31.5	0	0	175	0	13.5	20.69
合計	486	31.5	57	44.5	1734.5	1298	264.5	505.23

## 2. 利用者数（実人数）

H31.3月末時点

	平成 29 年	平成 30 年
居宅介護	24 人	23 人
行動援護	2 人	2 人
重度訪問介護	1 人	0 人
同行援護	3 人	4 人
移動支援	6 人	5 人

## 3. 職員研修

内 容	日にち	場 所	人 数
同行援護従事者養成研修 (一般課程・前期)	5月22日(火) 23日(水)	浜田市	3名
同行援護従事者養成研修 (一般課程・後期)	5月29日(火) 30日(水)	浜田市	3名
相談支援従事者初任者研修 (前期)	7月24日(火) 25日(水)	浜田市	1名
相談支援従事者初任者研修 (中期)	8月2日(木) 3日(金)	出雲市	1名
相談支援従事者初任者研修 (後期)	10月2日(火) 4日(木)	出雲市	1名
重度訪問介護者従事者養成研修 (基礎・追加課程)	9月26日(火) 28日(金)	松江市	1名
同行援護従事者養成研修 (応用課程)	10月9日(火) 10日(水)	松江市	2名
会議をうまく行うコツ・ファシリテーション研修	2月22日(金)	浜田市	1名
接遇マナー研修(法人研修)	2月16日(土)	あゆみの里	2名

## 4. 成果と課題

- ・ 資格取得に努め、体制を整えた。
- ・ 急な受診など、利用者の体調にあわせたサービスの調整を行うことができた。
- ・ 身体介助に対応できる登録ヘルパーが減ったことで、対応するヘルパーが偏り、シフトの調整や急な変更の対応が難しくなった。

## 平成 30 年度 共同生活援助 事業報告

### 1. 入居状況（H31.3月末 現在）

#### ○ 区分別入居者数と年齢

区分 2	4名	(20歳、65歳、65歳、68歳)
区分 3	1名	(46歳)
区分 4	1名	(66歳)

#### ○ 障がい種別入居者数

精神障がい者 6名

#### ○ 利用状況

	神田寮（定員7名）		利用者数 合計	実利用 延べ人数	延べ 利用日数 <small>(定員数×1ヶ月)</small>	利用率 (%)
	男性	女性				
4月	3	2	5	150	210	71
5月	3	2	5	154	217	71
6月	3	2	5	149	210	71
7月	3	3	6	173	217	80
8月	3	3	6	180	217	83
9月	3	3	6	176	210	84
10月	3	3	6	184	217	85
11月	3	3	6	178	210	85
12月	3	3	6	180	217	83
1月	3	3	6	181	217	83
2月	3	3	6	165	196	84
3月	3	3	6	146	217	67

入居率：86%

年間利用率：79%

※ 3月に、男性（65歳）1名、女性（66歳）1名が風の丘へ入寮のため退寮。

### 2. 活動内容

#### 【日常生活と社会参加】

- ・ 利用者ミーティングを月1回行っている。
- ・ 社会参加として、地域の行事（盆踊り）への参加、外出行事（6月：春日荘見学、11月：別府弁天池）、石見横田駅周辺の清掃活動（月1回）を行った。
- ・ 7月に水害、12月に地震を想定して避難訓練を行った。

## 【防災・環境設備】

- 4/4 消防設備等総合検査（出雲ポンプ）
- 9/9 避難訓練（水害）
- 10/16 消防設備等機器点検（出雲ポンプ）
- 12/5 避難訓練（地震）

### 3. 生活支援員・世話人研修会

グループホーム会議・世話人会（月1回）

### 4. 成果と課題

- ・ 利用者みなさんが、体調不良などなく元気に一年過ごすことができた。
- ・ 体験利用の受け入れをした。（平成30年10月）
- ・ 必要に応じて受診同行をした。
- ・ 2名、移行先が決まり引っ越しができた。引き続き、他の入居者の移行先を調整していく。

# 平成30年度 相談支援事業 事業報告

## 1. 委託・指定相談支援

### ◎ 益田市

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	239	255	154	96	14	56	1	752
来所相談	59	83	338	46	5	29	1	532
同行	23	26	16	9	1	0	0	68
電話相談	345	356	443	191	32	141	3	1,343
電子メール	0	0	2	0	0	0	0	2
個別支援会議	29	41	18	48	3	14	0	144
関係機関	563	713	462	413	81	357	5	2,353
その他	179	48	34	45	31	49	0	351
計	1,437	1,522	1,467	848	167	646	10	5,545
前年度	1,602	1,305	1,128	827	234	724	10	5,316

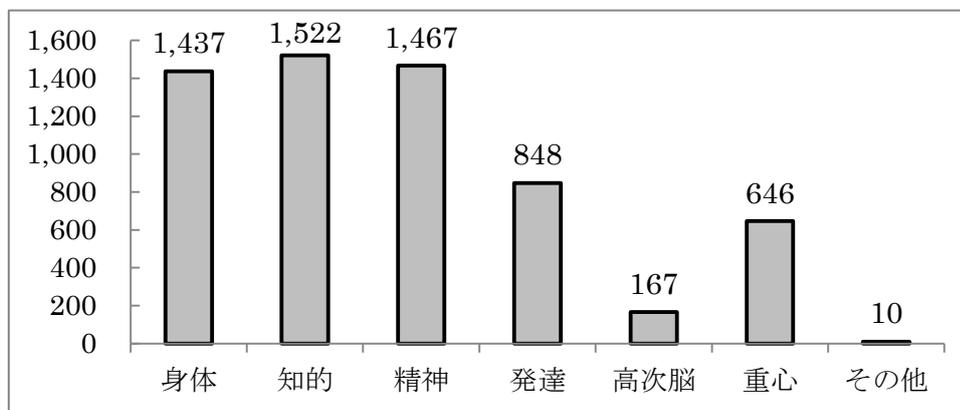
### ◎ 津和野町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	5	8	14	1	5	0	0	28
来所相談	3	5	5	4	3	0	0	17
同行	1	0	0	1	1	0	0	2
電話相談	12	6	2	4	12	0	0	24
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	2	1	2	1	2	0	0	6
関係機関	8	7	55	5	8	0	0	75
その他	0	2	0	3	1	0	0	6
計	31	29	78	19	32	0	0	158
前年度	40	15	39	20	57	0	0	133

### ◎ 吉賀町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	0	0	6	0	0	0	0	6
来所相談	0	0	1	0	0	0	0	1
同行	0	0	0	0	0	0	0	0
電話相談	0	0	3	0	0	0	0	3
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	0	0	1	0	0	0	0	1
関係機関	0	0	8	0	0	0	0	8
その他	0	0	3	0	0	0	0	3
計	0	0	22	0	0	0	0	22
前年度	0	1	21	2	0	0	0	22

障がい種別  
(益田市)



◎研修会、会議、その他

	研 修	会 議
4 月		・相談支援会議
5 月	・障害支援区分認定調査員研修会 ・相談支援ファシリテーター養成研修	・相談支援会議 ・平成 30 年度第 1 回地域移行支援・地域定着支援事業ケース検討会
6 月	・島根県相談支援専門員協会 第 2 回研修会	・相談支援会議 ・益田市障がい者虐待防止ネットワーク会議及び差別解消支援地域協議会 ・平成 30 年度第 1 回益田鹿足地区生活支援会議
7 月	・相談支援従事者初任者研修 前期	・相談支援会議
8 月	・相談支援従事者初任者研修 中期 ・相談支援従事者現任研修 ・人権研修	・相談支援会議 ・自死総合対策連絡会 ・ホースセラピー講演会
9 月	・相談支援従事者スキルアップ研修 ・強度行動障害支援者養成研修 実践研修	・相談支援会議 ・重度心身障害児（者）の会 意見交換会
10 月	・相談支援従事者初任者研修 後期 ・ファシリテーター実践研修 ・平成 30 年度精神障がい者地域生活移行・地域定着研修会 ・ファシリテーター振り返り研修	・相談支援会議 ・益田市自立支援協議会 福祉人材育成部会
11 月	・平成 30 年度こころの相談従事者研修会 ・相談支援専門員研修	・相談支援会議
12 月		・相談支援会議 ・「障がい者就労支援事業所」説明会 ・人権週間街頭キャンペーン

1月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援会議</li> <li>・益田市障がい者就業・生活支援センター連絡会議</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパス導入支援研修Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援会議</li> <li>・自立支援協議会部会</li> <li>・平成30年度第4回地域移行支援・地域定着支援事業ケース検討会</li> </ul>
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援会議</li> <li>・益田市在宅重度心身障害児（者）親の会意見交換会</li> <li>・益田市自立支援協議会 全体会</li> <li>・障がい福祉関係事業者等説明会、集団指導</li> </ul>

### ◎ 成果と課題

- ・福祉サービス・保育・教育・医療等の関係機関への周知・広報を行い、共通理解や情報共有等の連携を図る。
- ⇒・たくさんの事業所を利用しないと生活していくことが難しい方が増え、タイムリーな情報共有を行うことが難しい時がある。連絡だけで多くの時間をとられる。
  - ・土日祝祭日の緊急対応、連絡手段が課題。
  - ・重度心身障がいのある方の緊急避難（災害時）マニュアルを関係機関と作成することになっていたが、相談員として疑問に思っていたことを、伝えることができなかった。（現在作成できていない）意見をまとめて伝えることが大切だと感じた。
  - ・各事業所へ足を運ぶことが大切。
  - ・子どもの支援において、保護者と関係機関と相談員で情報を共有することで、保護者の負担を軽減することができた。
- ・当事者主体のサービス等利用計画の作成を行うため、相談支援専門員の知識向上や相談技術の研鑽に励む。
  - ⇒・障がい特性にあった、サービス等利用計画の作成をこころがけている。
    - ・様々な研修に参加し、その中で学んだことを活かせるように努めた。その中でも、ファシリテーターの研修はケア会議にとっても活かすことができています。
    - ・ご本人が実際にどうしたいのか、しっかりニーズを把握することが必要。
    - ・職員目線の目標や計画書は後々必ず問題が起きると感じた。
- ・圏域のことも考えて行ける相談支援専門員の人材育成をしていく。
  - ⇒・研修等で圏域の相談員と色々話すことができ、参考になるケースの話もあった。
    - ・他の相談支援事業所の相談員との話に刺激を受けた。

## 2、島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務

◎目的：益田圏域において専門的な相談支援、関係機関との地域支援ネットワークの構築・高次脳機能障がいに関する研修等を行い、高次脳機能障がい者に適切な支援が提供される体制整備を図ることを目的とする。

◎相談のべ件数

	電話	来所	訪問	メール	その他	実件数
本人	1	9	8	0	0	18
家族	22	6	1	0	0	29
関係機関	33	7	6	2	4	52
計	56	22	15	2	4	99
前年度	209	25	62	14	26	336

1. 前年度は相談員4名分のカウント。今年度はコーディネーター（1名）のみのカウントとなった。

◎ 当事者・家族のつどい 2回実施

- ・6月23日 茶話会（10名参加）
- ・11月10日 紅葉狩り：北広島町（11名参加）

◎ ネットワーク会議 3回実施

- ・第1回：5月11日（金）吉賀町（ふれあい会館） 29名参加
- ・第2回：9月14日（金）津和野町（津和野町社協） 22名参加
- ・第3回：2月8日（金）益田市（益田合同庁舎） 24名参加

◎ 圏域研修会 1回実施

- ・3月2日（土）13時30分～15時00分  
講演「高次脳機能障がい者支援について」  
講師：隅原 聖子 氏（社会医療法人 千秋会 井野口病院 地域連携室参与）

◎ 研修会、会議出席

- ・派遣研修参加者復命研修
- ・高次脳機能障がいデイケア連絡協議会
- ・平成30年度島根県高次脳機能障がい者支援研修
- ・子どもの高次脳機能障がいと発達障がい
- ・浜田圏域ネットワーク会議
- ・平成30年度第2回高次脳機能障害支援普及全国協議会
- ・平成30年度第2回支援コーディネーター全国会議・シンポジウム
- ・平成30年度高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会
- ・島根県自立支援協議会高次脳機能障がい支援部会

◎ 成果と課題

- ・高次脳機能障がいのある方への支援が充実するよう関係機関との連携を密にする。  
今年度からは、地域拠点との連携を密に図る。  
⇒・地域拠点にケースの相談を行った。今後ケア会議への参加を依頼することになっている。
- ・ネットワーク会議に、実際に高次脳の方のケースの支援に困っている事業所に参加してもらおうと、具体的な話ができるのではないかと思う。
- ・高次脳当事者、家族のつどいの参加者が増えるよう周知を行う。  
⇒・平日の夕方（仕事が終わった時間）や日曜日開催などの意見もあるため、開催する日時を検討していく必要がある。
- ・当事者が女性バージョンの集まりなど、様々な工夫を検討していく必要がある。

# 平成30年度 手話通訳事業 事業報告

## 1. 手話通訳設置事業（益田・津和野・吉賀含む）

	H30	H29
通訳対応件数総数 （センター内・センター外）	538 件 （324 件・214 件）	533 件 （269 件・264 件）
通訳時間	823 時間 56 分	775 時間 25 分

### ○ 職員研修

- 平成30年7月18日 設置通訳者・手話通訳等派遣コーディネーター会議及び研修会
- 平成31年2月17日 「手話と健康」学習会
- 平成31年3月15日 手話事業部職員研修及び手話講師団研修  
～16日

## 2. 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

登録者数		H30			H29			
		益田	津和野	吉賀	益田	津和野	吉賀	
手話	通訳者	7	1		7	1		
	奉仕員	68	13	12	45	12	6	
要約筆記	手書き	筆記者	8	1	1	8	1	1
		奉仕員	11	5	5	12	5	5
	パソコン	筆記者	5	1		5		
		奉仕員	4			6		

派遣件数及び 派遣内容		H30		H29	
		手話	要約筆記	手話	要約筆記
保健・医療		59	3	33	12
職業・労働		0	1	2	0
保育・教育		2	0	0	0
集会・講座		27	27	22	9
生活・生計		32	10	21	0
合計		120	41	78	21

## 3. 手話奉仕員・要約筆記者奉仕員養成研修事業

### ○ 手話奉仕員養成講習会

益田（平成30年8月～平成31年3月） 入門課程修了19名(25名受講)

○ 研修会（益田・津和野・吉賀含む）

参加 延べ人数	手話 (9回/年)	筆記 (手書き・パソコン各5回/年)
益田	140名	30名
津和野	15名	1名
吉賀	9名	0名

4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業〈独自事業〉

H30			
手話：53件		要約筆記：34件	
外部団体：53	法人：0	外部団体：26	法人：8
H29			
手話：63件		要約筆記：31件	
外部団体：60	法人：3	外部団体：23	法人：8

5. 成果と課題

○ 手話通訳設置事業

- ・ 病気や治療、介護等の内容が増え、継続的に関わる通訳となっている。事業所や病院など関係機関との連携を密にしながら、聴覚障がい者の理解（合理的配慮）を広げていくように心がけた。
- ・ 聞こえない職員を配置したことで、聞こえない人からの相談等が増えた。

○ 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

- ・ 手話・要約筆記のニーズはあるが、特に平日活動できる登録者が限られている。市外に派遣をお願いすることも増え、通訳できる人を増やしていくことが必要。益田市聴覚障害者協会・難聴者協会とも連携し、通訳現場に新人登録者を派遣し、設置者が同行、または先輩通訳者と組むことで、新人育成を図った。

○ 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業

- ・ 手話・要約筆記ともに講師団が研修会講師を担当することで、登録者の現状を把握でき、技術向上の指導につなげた。
- ・ 登録の条件として研修会参加を提示し、通訳者に参加意識を高めた。

○ あゆみの里手話通訳者等派遣事業

- ・ 今年度9月に派遣方法を変更。事前に登録者や主催者に対して説明し、理解してもらうように努めた。スタート以降登録者・主催者の意見を聞きながら、改善を図る。
- ・ 活動できる者が不足しているため、登録者に休暇を取ってもらったり市外への依頼が増加している。状況は昨年度と変わらない。新人と先輩登録者を一緒に派遣することで、人材育成・現場経験を増やしている。

平成 30 年度 地域活動支援センター事業 事業報告 (益田・津和野)

1. 開所日数 289 日 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

2. 登録者数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	手帳無	合計	H30 年 3 月末
益 田	46	2	0	16	0	8	0	6	78	93
津和野	5	1	0	3	0	2	0	0	11	11

3. 延べ利用者数 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	その他	合計
益 田	2,730	9	0	0	0	101	0	265	3,105
津和野	295	0	0	0	0	8	0	0	303

※ その他は、発達障がいの特徴が顕著な利用者であり、H29 年度からカウントしている。

4. 延べサービス提供数 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

			精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	他	合計
基礎的事業	1. 憩いの場の提供	益 田	2,890	9	3	0	0	108	0	279	3,289
		津和野	319	0	0	0	0	9	0	0	328
	2. 創作活動・生産活動 仲間作りの機会の提供	益 田	1,417	3	4	0	0	60	0	545	2,029
		津和野	5	0	0	0	0	0	0	0	5
3. コミュニケーションや 人間関係づくりの支援	益 田	261	0	2	0	0	9	0	38	310	
	津和野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
機能強化事業	4. 地域交流活動	益 田	105	1	0	0	0	7	0	19	132
		津和野	3	0	0	0	0	3	0	0	6
	5. 相談 (電話も含む)	益 田	1,314	2	1	0	0	52	0	57	1,426
		津和野	3	0	0	0	0	3	0	0	6
1～5 の合計		益 田	5,987	15	10	0	0	236	0	938	7,186
		津和野	330	0	0	0	0	15	0	0	345

5. 実施行事

月	行事
4月7日(土)	○精神保健福祉ボランティアこもれび主催 お花見&グラウンドゴルフ交流会への参加
4月21日(土)	○支える会との共催 学習会 『松ヶ丘病院 統括部長 柘本典子氏 講演会』実施
5月12日(土)	○支える会との共催 バーベキュー&グラウンドゴルフ交流会実施
6月6日(水)	○3施設合同避難訓練参加
8月18日(土)	○支える会との共催 学習会『当事者の体験発表、 シンポジウム～とらいと語ろう』実施
9月29日(土)	○支える会との共催 ボーリング大会実施
11月5日(月)	○あゆみの里避難訓練 参加
11月9日(金)	○支える会との共催 視察研修実施(フルール益田、かまて、あゆみの里)
12月10日 (月)	○ポコ・ア・ポコとの交流会
12月16日 (日)	○ファイブハーツクリスマス交流会への参加
1月19日(土)	○地活新年会
3月9日(土)	○ヴィレッジせいわとの交流会
3月22日(金)	学習会『医薬品の安全使用』 講師:ファーマシー薬局益田センター 薬剤師 小畑志保氏

6. 今年度も地域活動支援センター職員は、利用者への支援に力を入れるため、下記の研修会・勉強会に参加した。

- \* 平成30年度第2回島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会 第2回スタッフ研修会
- \* 平成30年度島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会 スタッフ研修会
- \* 平成30年度中国ブロック家族会精神保健福祉促進研修会
- \* 子ども・若者支援センター主催 「不登校・ひきこもりからの回復のストーリー」
- \* 子ども・若者への向き合い方を学ぶ講演会  
「その子はきっと大丈夫!～寄り添う大人にできること～」
- \* 第18回 石西地区 人権・同和教育研究集会 実践報告②  
(鹿足郡学校教育研究会)『真剣に関わるとは』
- \* 平成30年度 精神保健福祉講演会「精神障がい者が暮らしやすい地域を目指して」

## 7. 成果と課題

- 今年度は、職員が増えたことで研修に参加しやすくなった。
  - ・ 物事の捉え方や関わり方において、常に相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ。
  - ・ 『利用者は傘をさしかけてほしいのではなく、ともにぬれてほしいと考えている』 という言葉が印象深かった。
  
- 一人ひとりの「強み」を発揮できるように、今年度も作品の展示や応募などの機会を提供してきた。
  - ・ 特定の利用者への支援になっている。他の利用者の強みをみつけていくことが課題。
  - ・ まだまだ、才能を秘めている方もたくさんいるので、それを活かす場所、きっかけづくりができるとうい。
  - ・ 1人ひとりの体調、気持ち等を考えながら話しかけるよう心がけた。  
様々な活動を通して、「やってみよう」「できそうだ」という考え方が持てる様支援していきたい。
  
- 一人ひとりのニーズや利用目的等を把握することが、なかなか難しかった。
  - ・ 今後、更新時に1人ひとりのニーズ、夢などをじっくり聞きとっていくことが必要。そしてまた職員全員で共有して、支援していくことが必要。
  
- コミュニケーションの苦手な方への支援について、SST やミーティンググループ など外部の方の協力も得て、取り組むことができた。
  - ・ 集団ではなかなか、お話することが難しいかたは、職員と個別で話をするところから取り組んだ。
  - ・ 地域の活動（奉仕活動など）に参加し、地域の人との会話からコミュニケーションがうまくできるようになるとよい。
  
- ボランティア活動の充実を図りながら、地域交流、障がい理解の啓発をおこなった。
  - ・ こもれびのみなさんには、講座や行事（ライト・イット・アップブルーなど）に参加をしていただき、ご協力いただいた。
  - ・ あゆみの里協力会員を、今後どうしていくかが課題。
  - ・ 地域交流「麻雀交流会」「絵手紙」等の活動を活性化させていきたい。

# 平成30年度 益田市基幹相談支援センター事業 事業報告

## 1. 相談者（児・者）の内訳（重複あり）

相談者	実人数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
障がい者	4	2	2	0	0	1	0	0
障がい児	2	0	2	0	0	0	0	0
計	6	2	4	0	0	1	0	0

## 2. 相談内容（重複あり）

相談内容	実件数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
サービス調整に関すること	15	3	12	0	0	0	0	0
病状や障がいの理解に関すること	2	0	2	0	0	0	0	0
健康・医療等に関すること	1	0	1	0	0	0	0	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0
保育・教育に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
家族・人間関係に関すること	1	0	1	0	0	0	0	0
生活に関すること	2	0	2	0	0	0	0	0
就労に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護に関すること	1	0	1	0	0	0	0	0
住居に関すること	2	2	0	0	0	2	0	0
その他	8	7	1	0	0	7	0	0
計	32	12	20	0	0	9	0	0

## 3. 支援方法（重複あり）

支援方法	件数	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次能機能障がい	重症心身障がい	その他
訪問	2	1	1	0	0	1	0	0
来所相談	1	0	1	0	0	0	0	0
同行	2	0	2	0	0	0	0	0
電話相談	1	0	1	0	0	0	0	0
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	1	0	1	0	0	0	0	0
関係機関	21	11	10	0	0	8	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	28	12	16	0	0	9	0	0

#### 4. 研修及び会議

年月日	研修及び会議
H30. 10. 23 H30. 10. 30	相談支援会議 放課後等デイサービス事業所連絡会勉強会
H30. 11. 20 H30. 11. 21	相談支援会議 江津基幹相談支援センター見学
H30. 12. 18	相談支援会議
H31. 1. 15 H31. 1. 28～29	相談支援会議 市内相談支援事業所及び松ヶ丘病院訪問
H31. 2. 8 H31. 2. 12 H31. 2. 19 H31. 2. 22 H31. 2. 28	高次能ネットワーク会議 地域移行に向けた取組について保健所より来所 相談支援会議 浜田圏域自立支援協議会西部地区スキルアップ研修 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援 益田圏域会議
H31. 3. 1 H31. 3. 2 H31. 3. 3 H31. 3. 5 H31. 3. 12	人権研修（高齢・障がい） 高次能機能障がい者支援について研修会 言葉の理解が不十分な障がい児・者への支援について研修会 重症心身障がい児親の会 意見交換会 相談支援会議

#### 5. 成果と課題

新規事業のため、基幹相談支援センターの周知を行った。今後も継続して行う必要がある。  
来年度は関係機関等と連携を図り、具体的に事業を実施する。